

鈴藤和子さんのメッセージ

皆様、とても長いご無沙汰をいたしております。お久しぶりなのに、今日は悲しいお知らせをするためにお手紙を書いております。

今年の5月5日に、夫、鈴藤政宏がなくなりました。92才でした。近年はいくつかの重大な病気にかかりましたが、そのたびにのり越え、寛解に至り、お薬をのみながら、静かに穏やかに過ごしておりました。このままの時間がずっと続くものと思い込んでおりました。

それが、思いもよらない、私どもにとっては伏兵とでも言うべき誤嚥性肺炎にかかってしまい、5月5日に旅立ちました。皆様にはすぐお知らせした方がいいのではないかと思いましたが、以前から、その時が来たら、私とむすこふたりで見送ってくればいいよと言っておりましたので、身近な者と白鳥さんご夫妻とで別れを告げました。

葬儀には、モーツアルトのレクイエムを流してくればいいよとも言っておりましたので、その抜粋を流しました。

私が世慣れしないもので、何かと行き届かないことが多く、皆様に失礼をしてしまったかと思いますが、どうかお許しください。

ずっと、いつもそばにいた人が、いなくなるということの影響の重大さに、我ながら圧倒される想いでおります。あれから4か月になりますが、日常のさまざまな場面で思い出すことが多く、悲しくてさびしくてたまりません。クローバー合唱団で皆様と交流し、モーツァルトのレクイエムなどを練習し演奏したころのこと、政宏にとって大切な、貴重な時代だったと、改めて考えます。

皆様、本当にありがとうございました。政宏とともに心からの感謝を申し上げます。

2023年9月12日

鈴藤和子
クローバー同窓会の皆様へ